

<p><b>保育理念</b></p>	<p>一、子ども達の実体験を通し、からだと心を育てる温かい保育を行う  <b>【生きる力の基礎を育成する】</b> 一、人と人との関わりを深め、子ども達の健やかな発育・発達を援助する                  一、子どもが持つ無限の可能性を伸ばすように、良い環境のもとで保育をする</p>	<p><b>保育方針</b></p>	<p>共 育 … 家庭や地域の人達と共に育てる                  遊 育 … 遊びや自然の中で生きる力を培う                  食 育 … 一人ひとりにあったきめ細やかな食事を通して命を見つめながら育てる</p>
<p><b>保育の目標 (養護と教育)</b></p>	<p>◆十分に養護の行きとどいた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で、子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。(体と心を大事にする力)                  ◆健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。(子どもが自分で健康安全をつくりだす力)                  ◆人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育るとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。(人とのかかわりを持つ力)                  ◆生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うこと。(物とのかかわりを深めていく力)                  ◆生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養うこと。(ことばを獲得する力)                  ◆様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培うこと。(自分で感じたことを表現する力)</p>		
<p><b>家庭との連携</b></p>	<p>(1) 毎月の保育目標や園行事等について、家庭とも連絡を密にし、生活態度の見直しをしながら保育を進め、理解と協力をしてもらう。(子育て指導・栄養指導)                  (2) 参観日を設定し、保護者との話し合いの場を持ち、保育方針の徹底を図る。                  (3) 電話、文書による家庭への連絡のほか、必要に応じ個別面談や家庭訪問を行う</p>		
<p><b>地域との連携 子育て支援</b></p>	<p>(1) 子育て家庭への保育所機能の開放(施設及び設備の開放、体験保育等)を行う。                  (2) 子育て等に関する相談や援助の実施を行う。                  (3) 子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進を行う。                  (4) 地域の子育て支援に関する情報の提供を行う。</p>		
<p><b>保育園の 社会的責任</b></p>	<p>(1) 子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行う。                  (2) 地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に保育の内容を適切に説明する。                  (3) 入所する子ども等の個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情などに対し、その解決を図るように努める。</p>	<p><b>行 事</b></p>	<p>入園説明会 内科・歯科検診 避難訓練 交通教室 誕生会 遠足 プール開き セタ祭 魚のつかみどり 夏祭り                  運動会 作品展 クッキング 絵画教室 英会話教室 お茶会 小学校訪問 高齢者施設慰問 芋掘り 生活発表会                  クリスマス会 餅つき 凧あげ 豆まき ひな祭り 遠足 保育参観 祖父母参観 子育て講演会 卒園式</p>
<p><b>保 育 の 内 容</b></p>			
<p><b>クラス</b></p>		<p><b>お お む ね 6 ヶ 月 未 満</b></p>	<p><b>お お む ね 6 ヶ 月 から 1 歳 3 ヶ 月 未 満</b></p>
<p><b>養 護</b></p>	<p><b>ねらい</b></p>	<p>◇保健的で安全な環境を作り、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常は早く発見し、快適に生活できるようにする。                  ◇一人一人の子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄など生理的欲求を満たし生活の安定を図る。</p>	<p>◇保健的で安全な環境を作り、体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適に生活できるようにする。                  ◇一人一人の子どもの食欲、睡眠、排泄など生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。                  ◇離乳を進め、様々な食品に慣れ、幼児食への移行を図る                  ◇優しく語りかけたり、発声や喃語に应答したりして、発語の意欲を育てる。</p>
	<p><b>情 緒 命 の 安 定 持</b></p>	<p>◇家庭との連絡を密にとりながら、一人一人の子どもの健康状態、身体発育の状態を的確に把握する。                  ◇一人一人の子どもの生理的欲求を十分に満たし、保育士の愛情豊かな受容により気持ちのよい生活ができるようにする。                  ◇授乳は、抱いて微笑みかけたり、優しく言葉かけをしながら、ゆっくりとした気持ちで行う。                  ◇おむつが汚れたら、優しく言葉かけをしながら こまめに取り替え、きれいになった心地よさを感じることができるようになる。                  ◇ミルク以外の味やスプーンから飲むことに慣れ、離乳を開始する。</p>	<p>◇一人一人の子どもの、健康状態、身体発育の状態を的確に把握する。                  ◇体、衣類、身の回りにあるものを常に清潔な状態にしておく。                  ◇個々の子供の生理的欲求を十分に満たし保育士の愛情豊かな受容により、気持ち良く生活ができるようにする。                  ◇楽しい雰囲気の中で、喜んで食事ができ、離乳を進めながら、次第に幼児食に移行させる。                  ◇個々の子どもの、排尿間隔を把握しながら、他の子ども達の排泄の姿などを見ることによって、便器での排泄へ促す。</p>
<p><b>教 育</b></p>	<p><b>ねらい</b></p>	<p>◇笑ったり泣いたりする子どもの状態に優しく応え、発声に应答しながら喃語を育む。                  ◇安心できる人的、物的環境のもとで、寝返り、腹ばいなど運動的な活動を促し、また、聞く、見るなど感覚の働きが豊かになるようにする。</p>	<p>◇聞く、見る、触るなどの経験を通じて、感覚や手や指の機能を働かそうとする。                  ◇絵本や玩具、身近な生活用具を用意し、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生える。</p>
	<p><b>発 達 の 視 点</b> 健康 人間関係 環境 言葉 表現</p>	<p>◇一人一人の子どもの状態に応じて、離乳食を開始する。                  ◇優しく言葉をもらいながら、聞いたり、見たり、触ったりできる玩具などで遊びを楽しむ。                  ◇立位《支座位》で抱かれたり、屈伸、腹ばいなど、体位を変えてもらって遊びを楽しむ。                  ◇保育者が、優しく語りかけをしたり、歌いかけたり、泣き声や喃語に答えながら保育士とのかかわりを楽しむ。                  ◇見る、聞く、体を動かす楽しさなどを育むため、赤ちゃん体操などを取り入れていく。                  ◇身近な人との信頼関係を育み、人間関係の基礎を作る。</p>	<p>◇寝返り、はいはい、お座り、伝い歩き、立つ、歩くなど、それぞれの状態に合った活動を十分に行う。                  ◇つまむ、たたく、ひっぱるなど、手や指を使って遊ぶ。                  ◇発語や、保育士とのやりとりを楽しむ。                  ◇保育士の歌を、楽しんで聞いたり、歌やリズムに合わせて、手足を動かして楽しむ。                  ◇保育士に見守られて、玩具や身の回りのもので、一人遊びを十分に楽しむ。</p>
<p><b>食 育 (食を営む力の基礎)</b></p>	<p>◇一人一人の子どもの安定した生活のリズムを大切にしながら、心と体の発達を促すよう配慮する。                  ◇発育・発達状態、食物アレルギーの有無などを把握し、家庭と連携をとりながら子どもの状態に応じて、離乳食を開始する                  ◇楽しい雰囲気の中で、特定の大人との信頼関係の下で優しく見守られながら、ミルクを飲んだり、離乳食を食べたりする。                  ◇よく遊び、よく眠り、お腹がすくことにより、ミルクや離乳食を満足するまで飲んだり、食べたりして心地良い生活を味わう。                  ◇いろいろな味、食べ物に接して楽しむ機会を持ち、手づかみでも一人で食べることにより自分で食べる意欲を育てる。                  ◇保育者や友達と楽しい雰囲気の中で、咀嚼することを意識して食事し、スプーンを持って食べようとする自立心を育む。</p>		
<p><b>環境・構成</b></p>	<p>◇施設内外の設備、用具、遊具等の清掃、消毒、安全管理及び自主点検をする◇気温差を考慮し、保育室の温度、換気に十分注意する                  ◇子どもの発達段階や興味、関心に応じて遊びが行えるように、戸外、室内の環境を整える。 ◇園庭を整備し、危険を排除する。</p>	<p><b>安全対策 事故防止</b></p>	<p>◇避難訓練(火災・地震・水害・不審者対応)◇通報・消火訓練◇消防点検 ◇救命講習会◇園庭遊具の安全点検                  ◇施設内外の危険箇所を十分把握し、職員間で共通理解を図る。◇安全管理・感染症対応マニュアルの周知徹底</p>
<p><b>健康支援</b></p>	<p>◇一人一人の健康状態、発育発達状態を定期的、継続的に把握する。 ◇心身状態や家庭生活、養育状態を把握する。 ◇年2回の嘱託医による内科健診、歯科健診を実施し、嘱託医との連携を図る。                  ◇歯みがき、手洗い、うがいの指導 ◇異常が認められた時の適切な対応 ◇職員の健康診断、保菌検査、インフルエンザ予防接種の実施 ◇尿検査の実施</p>		

		保 育 の 内 容			
クラス		おおむね 1 歳 3ヶ月 から 2 歳 未 満	おおむね 2 歳	おおむね 3 歳	
養 護	ねらい	◇保健的で安全な環境の中で、子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持、情緒の安定を図る。 ◇身の回りのことに興味を持ち、自分でしようとする。	◇保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ◇自分でしようという気持ちを大切にし、基本的な生活習慣の芽生えを育てる。	◇一人一人の子どもの要求を満たし、生命を維持し、情緒の安定を図りながら基本的な生活習慣が身につくようにする。 ◇保健的で安全な環境を作り、快適に生活ができるようにする。	
	生命の緒の保持 情緒の安定 情	◇家庭との連携をとりながら、一人一人の健康や心身発育の状態を把握する。 ◇楽しい雰囲気の中で昼食や間食が食べられるようにし、スプーンなどを使って一人で食べようとする気持ちを育てる。 ◇一人一人の子どもの排尿間隔を知り、オマルに座らせうまく排尿ができた時は誉め、オマルでの排泄に慣れるようにする。 ◇一人一人の生活リズムを大切にし、適切な休息ができるようにする。	◇一人一人の健康、身体発育の状態や家庭での様子を把握し、快適に安心して過ごせるようにする。 ◇子どもの気持ちを受容、共感し、情緒の安定を図る。 ◇食事、排泄、睡眠、休息など生理的欲求が満たされ、快適な生活や遊びができるようにする。	◇一人一人の子どもの平常の健康状態や発育、発達状態を把握し異常を感じる場合は速やかに適切な対応をする。 ◇一人一人の子どもの気持ちや考えを理解し、温かく受け入れながら情緒が安定して生活できるようにする。 ◇楽しい雰囲気の中で、基本的な生活習慣の自立を図る。 ◇環境保健に十分に留意し、快適に生活ができるようにする。 ◇食事、排泄、睡眠、休息など生理的欲求が満たされ、快適な生活や遊びができるようにする。	
教 育	ねらい	◇いろいろな生活遊びを通して、友達に関心を示すようになる。 ◇保育士の話しかけなどにより、言葉を使うことを楽しむ。 ◇保育士との信頼関係のもとで食事、排泄などを通し、自分でしようとする「自立の心」を育てる	◇生活や遊びを通して、友達とのつながりが持てるようになる。 ◇身近な環境に興味を持ち、自分の意見を言葉で表すことができるようになる。 ◇安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。	◇身近な環境に興味を持ち、自分からかかわり、生活を広げていく中で自分のしたいこと、して欲しいこと、感じたことを言葉で表現する。 ◇楽しい雰囲気の中で、様々な食べ物をすすんで食べようとする。	
	健康 人間関係 発達 環境 言葉 表現	健康	◇登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなどの基本的な運動を取り入れて遊ぶ。 ◇いじる、叩く、つまむ、転がすなど手や指を使う遊びを楽しむ。 ◇保育士に見守られながら、一人遊びや、戸外で十分に遊ぶ。 ◇歌やリズムに合わせて、手足や身体を動かして楽しむ。	◇保育士の援助を受けながら、身の回りのことが一人でできるようになる。 ◇全身を使う運動を取り入れた遊びや、手や指を使う遊びを楽しむ。 ◇身近な自然や動植物に触れ親しみを持つ。 ◇生活に必要な簡単な言葉がわかり、自分で思ったことや感じたことを言葉で表す。 ◇ごっこ遊びやお話を通して、繰り返しの言葉の模倣を楽しむ。	◇身の回りの始末が自分で出来るようになる。 ◇保育士に親しみを持ち、安心感を持って生活する ◇戸外で十分身体を動かしたり、遊具や用具など使った運動遊びを楽しむ。 ◇危ない場所に近づいたり、危険な遊びをすることが少なくなり、危険な遊びに気づく。
		人間関係	◇保育士の話しかけを喜んだり、自分から片言で話すことを楽しむ。 ◇好きな遊具、自然物に自分からかかわり十分に遊ぶ。	◇動物や乗り物の動きを、身体で表現することを楽しむ。 ◇簡単な歌や手遊びをしたり、リズムに合わせて身体を動かして遊ぶ。 ◇様々な素材に触れて楽しむ。	◇友達と、いろいろなごっこ遊びを楽しむ ◇順番を守ったり、簡単な決まりを守る。 ◇保育士の手伝いをすることを喜ぶ。 ◇地域の人と触れ合うことを喜ぶ。
		発達			◇様々な用具、材料に触れ、それらを使って遊び楽しむ。 ◇身近な動植物に対して、親しみや愛情をも持つ。 ◇身近な自然事象をよく見たり触れたりなどして驚いたり、感動したりする。 ◇保育園の行事に参加して、喜んだり楽しんだりする。
		環境			◇あいさつや返事など、生活や遊びに必要な言葉を使う。 ◇自分の思った事や感じた事を言葉で表し、保育士や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 ◇絵本や童話などの内容がわかり、イメージを持って楽しんで聞く。
		言葉			◇様々な素材や材料を使って描いたり、扱ったり、作ったりして遊ぶ。 ◇音楽に親しみ、歌ったり、身体を動かしたり、楽器を鳴らして楽しむ。 ◇動物や乗り物などの動きを模倣して身体で表現する。
表現					
食 育 (食を営む力の基礎)	◇お腹がすき、楽しい雰囲気の中で食事を喜んで食べ、心地良い生活を味わう。 ◇スプーン、フォークの使い方を知り、食事の仕方を覚えて、指先の機能の発達を促す。 ◇いろいろな食べ物に関心をもち、苦手なものも励まされて頑張る食べようとする	◇食べ物に関心をもち、自分から進んでスプーン、フォーク、箸などを使って食べる。 ◇楽しい雰囲気の中で適量を無理せず、よく噛んで最後まで食べる。 ◇いろいろな種類の食べ物や料理を味わい、自主的に食べ食事を楽しむ。	◇身近な大人や友達と共に、食事をする喜びを味わい、食べることの大切さを知る。 ◇食事のマナーや箸の持ち方を覚える。 ◇食材の名前を覚え、楽しんで食事する。 ◇できるだけ多くの種類の食べ物や料理を味わい、食材や食事への関心を深める。		
環境・構成	◇施設内外の設備、用具、遊具等の清掃、消毒、安全管理及び自主点検をする。 ◇気温差を考慮し、保育室の温度、換気に十分注意する。 ◇園庭を整備し、危険を排除する。 ◇子どもの発達段階や興味、関心に応じて遊びが行えるように、戸外、室内の環境を整える。 ◇地域の祭りや伝統行事に参加し、行事の意味を知らせ、地域の人々との触れ合いを大切にする。				
安全対策 事故防止	◇毎月避難訓練を実施(火災・地震・水害・不審者対応) ◇通報・消火訓練の実施。 ◇消防点検 ◇交通安全教室を通して、交通のルールや決まりを知らせる。 ◇施設内外の危険箇所を十分把握し、職員間で共通理解を図る。 ◇外部業者による園庭遊具の安全点検 ◇救命講習会 ◇安全管理マニュアル・感染症対応マニュアルの周知徹底を図る				
健康支援	◇一人一人の健康状態、発育発達状態を定期的、継続的に把握する。 ◇心身状態や家庭生活、養育状態を把握する。 ◇年2回の嘱託医による内科健診、歯科健診を実施し、嘱託医との連携を図る。 ◇歯みがき、手洗い、うがいの指導 ◇異常が認められた時の適切な対応 ◇職員の健康診断、保菌検査、インフルエンザ予防接種の実施 ◇尿検査の実施				

クラス		保 育 の 内 容	
		お お む ね 4 歳	お お む ね 5 歳 ～ 6 歳
養 護	ねらい	<p>◇保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。</p> <p>◇一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。</p> <p>◇午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。</p> <p>◇一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。</p>	<p>◇保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。</p> <p>◇一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図ると共に、健康に過ごすための習慣を身につけ、行動できるようにする。</p> <p>◇一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</p>
	生命の安定保持	<p>◇一人一人の子どもの平常の健康状態や発育、発達状況を把握し、異常に感じる場合は、速やかに適切な対応をする。</p> <p>◇子どもの気持ちや考えを理解して受容し、保育士との信頼関係の中で自分の気持ちや考えを、安心して表すことができるなど、情緒の安定を図る。</p> <p>◇子どもに健康や安全の大切さを知らせ、日々の生活に安心感が持てるようにする。</p> <p>◇食事、排泄、睡眠、休息などの生理的欲求が適切に満たされ、快適な生活や遊びができるようにする。</p>	<p>◇一人一人の平常の健康状態や発育、発達状況を把握し、異常に気づいたら優しく問いかけをし、子どもがその状態を話すことができるように配慮するとともに、必要に応じて適切な対応をする。</p> <p>◇子どもの気持ちを温かく受容し保育園生活の様々な場面で、子どもが安定し自己を十分に発揮して活動できるように配慮する。</p> <p>◇環境保健に十分留意し、快適な生活や遊びができるようにする。</p> <p>◇安定した生活リズムの中で、ゆったりと安心して過ごせるようにする。</p>
教 育	ねらい	<p>◇自分でできることに喜びをもちながら、健康、安全など生活に必要な基本的な習慣を身につける。</p> <p>◇友達ともつながりやを広げ、積極的に関わりながら、集団で活動することを楽しむ。</p> <p>◇身の回りの事物や数量、形、文字などに関心を持ち、感覚を豊かにする。</p> <p>◇人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。</p>	<p>◇自分でできることの範囲を広げながら、健康安全などの生活に必要な基本的習慣や態度を身につける。</p> <p>◇周りの人々に対する親しみを深め、集団の中で自己主張をしたり、また人の立場を考えながら行動する。</p> <p>◇身近な事物や事象に積極的に関わり、見たり扱ったりする中で、その性質や数、量、形への関心を深める。</p> <p>◇安心できる人的及び物的環境の下で、聞く、見る、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。</p>
	健康	<p>◇食べ慣れない物や嫌いな物でも少しずつ食べようとする。</p> <p>◇排泄やその後の始末などは、ほとんど自分でする。</p> <p>◇危険なものや場所について分かり、遊具、用具などの使い方に気をつけて遊ぶ。</p> <p>◇戸外で進んで体を動かして遊ぶ。</p> <p>◇身近な環境に興味を持ってかかわり、遊びを体得していく。</p>	<p>◇自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。</p> <p>◇身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。</p> <p>◇危険な場所や災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。</p> <p>◇保育士や友達と一緒に様々な運動や遊びをして、十分に体を動かす。</p> <p>◇就学することに期待を持ち、早寝早起きの生活リズムを身につける。</p>
	人間関係	<p>◇保育士や友達と生活する中で、決まりを守る大切さに気づき、守ろうとする。</p> <p>◇共同のものを大切に譲り合って使う。</p> <p>◇異年齢児と交流をはかり積極的に遊ぶ。</p> <p>◇地域のお年寄りや、身近な人の話を聞いたり話しかけたりする。</p> <p>◇自己を十分に発揮したり、他者と協調して生活したりすることを楽しむ。</p>	<p>◇集団遊びの楽しさが分かり、決まりを作ったり、それを守ったりして遊ぶ。</p> <p>◇人に迷惑をかけないように、人の立場を考えて行動しようとする。</p> <p>◇異年齢児の子どもと関わりを深め、思いやりやいたわりの気持ちを持つ。</p> <p>◇高齢者を始め、地域の人々など身近な人に親しみをもち、感謝の気持ちを持つ。</p> <p>◇集団生活の中で自己主張をしたり、相手の意見を取り入れたりしながら、協力し合う。</p>
	環境	<p>◇自然の変化、美しさに気づき、驚いたり感動したりして、興味、関心を深める。</p> <p>◇身近な動植物に親しんだり、世話をしたりして愛情を持つ。</p> <p>◇具体的なものを通して、数、量、形に関心を持ち、簡単な数の範囲で数えたり、比べたりすることを楽しむ。</p> <p>◇園外保育など、いつもと違う場所に関心を持ち、その中で遊び方や楽しみ方を見つける。</p>	<p>◇自然や身近な事物、事象に関心を持ち、それらを取り入れて遊ぶ。</p> <p>◇身近にいる動植物に興味や関心を持ち、いたわって世話をする。</p> <p>◇日常生活の中で、数量に関心を持ち、ものを数えたり、比べたり、順番を言ったりする。</p> <p>◇社会事象に対して興味を持ち、よく見たり、聞いたり、考えたり、試したりする。</p>
	言葉	<p>◇日常生活に必要な挨拶をする。</p> <p>◇自分で考えたこと、経験したことを、保育士や友達に話して会話を楽しむ。</p> <p>◇絵本や童話などを読み聞かせてもらい、イメージを広げる。</p> <p>◇会話を通し、友達といることの楽しさを感じるようになり、つながりを深める。</p> <p>◇自分の名前や文字に興味を持つ。</p>	<p>◇親しみを持って日常の挨拶をする。</p> <p>◇人の話を注意して聞き、考えたこと、感じたことを相手にも分かるように話す。</p> <p>◇童話や詩などの中の言葉の面白さ、美しさに気づき、自ら使って楽しむ。</p> <p>◇友達やグループで話し合ったり、工夫したりして活動することを楽しむ。</p> <p>◇文字に興味を持ち、言葉遊びを楽しんだり、文字を書く楽しさを知る。</p>
	表現	<p>◇様々な物の音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気づき、驚いたり感動したりする。</p> <p>◇音楽に親しみ、みんなと一緒に歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりしてリズムの楽しさを味わう。</p> <p>◇作ったものを用いて遊んだり、保育士や友達と一緒に身の回りを美しく飾って楽しむ。</p> <p>◇感じたこと、考えたことを音や動き、描画や制作で表現する。</p>	<p>◇様々な音、形、色、手触り、動きなどに気づき、感動したこと、発見したことなどを創造的に表現する。</p> <p>◇音楽に親しみ、みんなと一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を弾いたりして、音色やリズムの楽しさを味わう。</p> <p>◇友達と一緒に、描いたり、作ったりすることや、身の回りを美しく飾ることを楽しむ。</p> <p>◇水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しみ、工夫して遊ぶ。</p>
	食育 (食を営む力の基礎)	<p>◇健康、安全など、食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。◇慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する。</p> <p>◇自分の体に興味関心を持ち、健康であるために必要な食事や遊び、休息の大切さを知る。</p> <p>◇食材に興味を持ち、名前や料理される前の状態を知り、身近な大人や友達と協力し合って調理することを楽しむ。</p> <p>◇苗植え、水やりなど野菜を育てることにより、収穫の喜びや身近な人とともに食べる喜びを知り、愛情や思いやりを育てる。</p>	<p>◇自分の健康と食べ物との関係について関心を持ち、自分の体に必要な食品の種類や働きに気づき、意欲的に食べる。</p> <p>◇野菜の苗植え、水やりや世話をすることにより、生長、変化に気づき、収穫した野菜を食べることで食に対しての意欲を高める。</p> <p>◇挨拶、姿勢、食器の持ち方に気をつけて食べる。◇様々な人と一緒に食べる楽しさを味わい、愛情と思いやりを育てる。</p> <p>◇給食の職員とのかかわりを持ち、食材や調理する人への感謝の気持ちを育てる。◇食文化に関心を持つ。</p>
環境・構成	<p>◇施設内外の設備、用具、遊具等の清掃、消毒、安全管理及び自主点検をする。◇気温差を考慮し、保育室の温度、換気に十分注意する。◇小学校との交流など連携を図り、保育所児童保育要録を小学校へ送付する。</p> <p>◇子どもの発達段階や興味、関心に応じて遊びが行えるように、戸外、室内の環境を整える。◇地域の祭りや伝統行事などに参加し、行事の意味を知らせ、地域の人々との触れ合いを大切にす。◇園庭を整備し、危険を排除する。</p>		
安全対策 事故防止	<p>◇毎月、避難訓練を実施(火災・地震・水害・不審者対応)◇通報・消火訓練の実施。◇消防点検◇交通安全教室を通して、交通のルールや決まりを知らせる。</p> <p>◇施設内外の危険箇所を十分把握し、職員間で共通理解を図る。◇外部業者による園庭遊具の安全点検。◇救命講習会◇安全管理マニュアル、感染症対応マニュアルの周知徹底を図る。</p>		
健康支援	<p>◇一人一人の健康状態、発育発達状態を定期的、継続的に把握する。◇心身状態や家庭生活、養育状態を把握する。◇年2回の嘱託医による内科健診、歯科健診を実施し、嘱託医との連携を図る。◇尿検査の実施。</p> <p>◇歯みがき指導及び虫歯予防の為のフッ化物洗口の実施。(4,5歳児)◇手洗いうがいの励行。◇異常が認められた時の適切な対応◇職員の健康診断、保菌検査、インフルエンザ予防接種の実施。</p>		